

2020年6月12日

日本船舶海洋工学会「社会貢献賞」を受賞 “グリーンシップリサイクルの推進”

一般社団法人 日本船主協会

今般、シップリサイクル条約（HKC）の早期発効に向けた長年にわたる当協会の種々の活動が「グリーンシップリサイクルの推進」に資するとして日本船舶海洋工学会から評価され、「社会貢献賞」(*)を受賞しました。その主な活動は以下の通りです。

- ① 主要解撤国のインドおよびバングラデシュへ調査団を継続的に派遣し、現地の解撤事業者団体・労働組合・監督官庁への改善動機付け、シップリサイクル条約批准促進。
- ② 世界の船主団体に向けて、シップリサイクル条約基準適合ヤードの優先利用を推奨。
- ③ 実地見聞に基づき国際セミナーや関連諸国会合の場での環境に配慮したシップリサイクル促進の必要性を主張。

上記活動は日本政府をはじめ、日本海事協会や日本基幹産業労働組合連合会、海事コンサルタントなどとの官民労使一体となったオールジャパン体制での安全・環境に配慮したシップリサイクル促進活動の一翼を担うものです。その連携のもとに上記活動を推進した結果、特に世界有数の解撤国であるインドにおいてシップリサイクル施設の改善が加速し、昨年11月の同国によるHKC批准に繋がりました。

また、バングラデシュも2023年までにHKCを批准することを決定しており、条約発効要件充足が大きく近づいております。この流れをわが国関係者一体となった活動が促進した事は世界的に広く認知されており、インドにおける改善実績をバングラデシュ等の周辺解撤国へ展開する事を期待されております。

当協会は、HKCが早期に発効し世界的に安全・環境に配慮したシップリサイクルが実施されるよう引き続き国内外の関係者と連携して活動を続けていきます。



小林日本船舶海洋工学会事務局長（左）と友田日本船主協会解撤幹事長（右）

(*)日本船舶海洋工学会社会貢献賞（同学会 HP より抜粋）

海事に関わる環境保全活動や災害復興活動、青少年に対する啓発活動などの、特筆すべき社会貢献を実施している個人または団体を表彰します。